

「市長と語ろう未来の太宰府・ふれあい懇談会」(会議録)

行政区 星ヶ丘区

日 時 平成 21 年 10 月 13 日(火) 19:00～20:31

場 所 星ヶ丘公民館

出席者 (市 民) 35 人
(執行部) 14 人

井上市長、平島副市長、關教育長、木村総務部長、
三笠協働のまち推進担当部長、松田市民生活部長、
松永健康福祉部長、新納建設経済部長、宮原上下水
道部長併会計管理者、山田教育部長、松島議会事務
局長

(事務局) 今泉経営企画課長、齋藤広聴広報係長、諫山協働の
まち推進課長

会議内容 (進行：今泉経営企画課長)

- 1 開会あいさつ(経営企画課長) 19:00～
- 2 区自治会長あいさつ(区自治会長) 19:01～
- 3 市長あいさつ(市長) 19:02～
- 4 市職員自己紹介(経営企画課長) 19:05～
- 5 「協働のまちづくり」について(協働のまち推進担当部長) 19:08～
- 6 「懇談」質疑・意見交換(経営企画課長) 19:22～
(別紙)
- 7 閉会あいさつ(副市長) 20:30～20:31

	発言の主旨	市長
意見 1	<p>自宅の裏に開発地域がある。民間企業が購入し、防風林を開発し、真砂土を販売する目的である。同業者の説明では、旧防風林の高さを制限して開発することだったが、本当に守られているのか。市は確認されているのか。台風が来ると風の道となる。また、那珂川町でよく似た開発がされ、那珂川町が開発をストップしたという経緯もあると聞いているので、併せて回答をお願いしたい。</p>	<p>(市長)</p> <p>東中学校西側青山3丁目32番は、平成20年から事案が持ち上がっています。当初開発許可は、福岡県です。当時からほこり、土砂流出も問題があり、現場を確認しました。対応もしておりますが、申請が法にかなっておれば、限界があります。市民の皆さんがほこり、騒音などが無いように、市から指導、申し入れは行っています。担当も絶えず現場を確認しています。側溝についても以前のような形はなくなっています。今後も土砂の流出の問題は防げるのではないかと考えています。今の問題は、コンテナハウスを建設しており、それが違法建築との指摘があり、那珂土木の方で行っています。即違法な部分については除去するように勧告を行っています。福岡県の約束事項は、最終的に除去するようになっております。移転する社有地がない状況があるようです。福岡県との約定に従って、一歩ずつ除却しておる状況があります。高さの問題も、当初申請に基づくものになっていると思っています。一体的なものは調整区域で、緑はあったほうが良いという見方はあります。東中の裏側の道について、竹林は民有地で、防犯問題など事故が起こらないよう、鬱蒼とした所は、手を加えたほうが良い感じがします。</p>
	<p>コンテナ除去の話があったが、期間はいつまでか。</p>	<p>(市長)</p> <p>平成23年8月末までの約定です。</p>

	高さ制限は確認されたとのことであるが、これはいつか。	(市長) 詳細は承知していませんが、申請があるときに、申請に基づいて許可がありますが、また施工する担当についても許可内容によって土砂の高さ、搬出していると思います。
	申請の高さで、残す高さの分は現在それを満たしているということか。	(建設経済部長) 県の方と十分協議されており、県も定期的に巡回しています。現在高さ制限においても守られているということは、県からの通知で確認しております。今のところは間違いございません。
	確認されたらその数値は出ていると思うがその高さは？	(建設経済部長) 市には資料が無く、里道、道の付け替えなどの開発の約束事をして開発申請をしてあります。それに基づいて、履行することで動いています。現在、数字的なものは把握していませんが、守られています。
	数値が判ったら教えてほしい。	
意見 2	上記について、開発許可は福岡県の管轄ということだが、工事に入る前に、工事内容、申請内容など市に対して申請はあったのか。	(建設経済部長) 開発許可になりますので、正式に市へはありません。県と連携してそれぞれの情報を集めております。
	市長は景観まちづくりに力を入れている。景観条例が出来てくると思うが、その範囲は限られているのか。	(市長) 景観の問題と個人規制の問題は難しいものがあります。このケースについても所有者は自分の財産です。会社が営業のために行っていることを阻止できるかという限界があります。調整できるのは、騒音、ホコリを最小限度にすることで、開発に基づく約束事に従っている以上は言えないと思います。

	<p>景観条例は、太宰府市全体にかかるのか、それとも特定の地域だけか。</p>	<p>(市長)</p> <p>全体です。100年後も誇れるまちを目指して、景観修景は後世に送っていきたいと思います。市民の皆さんと協議していきたくはありますが、全て緑を残すということではありません。地域によっては開発していくところもあると思います。緑は今以上に無造作に壊してはいけないと思います。しかしながら個人所有を差し止める必要があるかどうか判断を併せて行っていきます。市域15%は史跡地で緑が残っていますが、問題は住宅地の緑が大切です。企業の利益と調和できるような努力はしていきたいと思います。</p>
	<p>地権者の問題もよくわかるが、トラックが出入りし、近くの小中高の生徒にとっては危険な状況にある。県が許可したかもしれないし、個人資産の問題もあるが、市としてできるところも含め、強い規制や指導ができないのか。景観条例を考えるならもう少しある程度強い指導ができてもいいのでは。</p>	<p>(市長)</p> <p>実際上行っています。例えば工事の時間帯、ダンプを動かす時間帯の変更の申し入れは現に行っています。私権の制限をすれば、最終的には市が買収しなければならぬこととなります。買い上げてでも守らないといけない景観は今後出てくるかもしれません。東中学校の横の竹林は、むしろ伐採した方がいいように思います。住民の皆さんの意向を踏まえて努力したいと思います。</p>
<p>意見3</p>	<p>上記業者の事務所に犬を置いているが、昼も夜もよく吠えるので迷惑している。騒音公害である。数日前に那珂川町で子どもが噛み殺される事件もあり、その犬と同じ種類の犬なので非常に心配である。市から業者へ指導できないのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>それは初めて聞きました。調査して、住民の皆さんに危害が及ばないように、また犬の飼い方については、各々の市民がマナーのもとに犬を飼われていると思います。確認しておきます。</p>

<p>意見 4</p>	<p>災害時、公民館が避難場所になっているが、実質的にヘルメットや毛布、食糧のストックなど何もない。市から整備する計画はあるか。</p>	<p>(市長)</p> <p>災害時の危機管理は大切な問題です。土嚢、くいなどの災害の用具は、看護学校跡地に常時用意しています。災害発生した場合、日赤など災害用品が届くシステムになっております。筑紫野・太宰府消防本部の分野で考えるべきであると考えます。ハード面、土嚢は用意できています。</p>
	<p>独居高齢者は、台風時心細い状態で、それらを町内会の少ない予算で揃えるべきか。市の予算で必要最小限の物だけでも用意できないか。</p>	<p>(市長)</p> <p>自治会活動で補助金を渡しています。自治会の中で考えていただき、そういったところで使ってもらって結構です。100万近く渡していると思います。有効に補助金を使ってもらいたいと思います。</p>
	<p>バス格差の問題。まほろば号の運賃は100円だが、星ヶ丘区を通る既存(西鉄)路線バスの運賃は160円や180円となっている。同じ市民として高い料金を払うのはおかしい、行政差別である。差額を市が負担するなどして運賃を100円にすることはできないか。(本年4月に市長に陳情済み)その後どうなったのか。市としてどのような解決を図るつもりか。はっきり返事してほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>陳情については承知しています。思いつめて考えている状況です。まず全般的にご理解いただきたいと思います。まほろば号の運行と路線の見直しは、市民の皆さんの外出支援として始まりました。運行の中で、問題点が発生しました。大きな改正として、平成20年度に西鉄都府楼前駅での乗継制度を導入しました。これも色々な苦情があり、(中断)</p>

<p>他地域の話をしているのではない。東ヶ丘、星ヶ丘の運賃格差の話をしている。他所の地域を聞きたいのではない。</p>	<p>(市長) 全体を説明した方がいいと思い、説明しました。 結果だけを見れば不平等かもしれませんが。元々公共交通機関が走っている所以外でまほろば号を通した経緯もございます。星ヶ丘線の既存の便数と同じ便数のまほろば号を走らせることはできません。経費の問題があります。利便性の問題については、比較にならないと思います。格差はあると思います。</p>
<p>地域格差の問題について、例えば通したとしても利益が上がるとは考えていないと思う。今のまほろば号も市は財政負担している。まほろば号を通すのではなく、西鉄の運行を利用して 100 円にすることはできないか。</p>	<p>(市長) 1 時間に 2 本だけですか？全部は出来ません。財政も持ちませんし、そういった状況ではないと思います。</p>
<p>ではどうして高雄とか新設したのか。だいたい自分の住居を持つときは、自分の交通を考える。それを後になって不便だからバスを通してくれというのは、財政の厳しい時代では…。この行政は、本当に先の見えない行政だと思う。いつまで赤字を垂れ流すのか。東ヶ丘、星ヶ丘、梅香苑のことしか言っていないが、長期的に言えばこの制度は考え直さないといけない、あるいはタクシー利用に変えて年間 3000 万から 4000 万でやれるようなことはできないかなど色々なことを考えて。まほろば号は、運転手から車検からガソリンから年々経費がかかる。根本的に考え直してほしい。太宰府はここにそんなに予算をつぎ込むほど余裕があるとは思えない。差額をはっきりと。</p>	<p>(市長) 説明をさせてください。 マミーズまほろば号があります。東観世団地については、50 年代にバリバリに市に貢献した方々がお住まいです。どうやって外出支援していくかが、行政の役割としてあると思います。赤字垂れ流しとおっしゃいましたが、必要な施策については、無制限にはできませんが。高齢者社会を迎えて、色々な方法はあります。デマンドバスとか個人の小さなバスとか検証は致しております。全てがまほろば号が使えるというものではありません。今経営的視点で考えています。4500 万ほど収入があります。市民の皆さん色々な意見があることは承知していますが、まほろば号については、進化させていきたいと</p>

		<p>思います。基本的に高齢者の外出支援については、今後も考えていきたいと 思います。</p>
	<p>私達は他の地域まほろば号を止めると いっているのではない。星ヶ丘と東ヶ 丘にも高齢者がいる。東ヶ丘から乗れ ば 20 円安いからそこから乗る人もい る。差額をどうするのか。同じ太宰府 市民で同じ納税をしてその税金でやっ ている。片一方は恩恵を受けてもう一 方はマイナス食っている。これは行政 差別なのではないか。</p>	<p>(市長) 今でも全てに平等かといえばそうでは ありません。止むを得ない部分はある と思います。現時点において「これだ」 というのは見出していません。おっし ゃってあることはわからないでもあり ませんが、全てにおいて平等というの は難しいと思います。</p>
意見 5	<p>バスの問題は、他の人も同じ。最初は 100 円でなかった。乗り手が少ないか ら増やそうとした。都心のバスと考え 方は似ている。他業者の参入を防ぐた めに 100 円にしている。太宰府の場合 は、乗り手が少ない、できるだけ維持 するため 100 円にしたことでこのよう な差別が出てきた。西鉄と同じような 距離制にすればこのような問題はなく なるのでは。</p>	<p>(市長) 最初は最高 180 円でした。乗り手が無 かったからというのは大きな理由では ありません。市民から出すのが面倒な のでワンコインでもしてもらえないか というのが要望として上がりました。増 やすということもありましたが、すべ てが 100 円という前提で改正した経緯 があります。</p>
意見 6	<p>如何にして星ヶ丘を楽しいまちにする かを考えている。自治会長も役員も一 生懸命やっている。過去に色々出てき た問題もある。これらを早く解決して やっていただきたい。ふれあい懇談会 をして、市長は、市民に対してどのよ うな第一印象を持ったか。</p>	<p>(市長) 選挙を通じて、地域に入りました。現 場が大事とっております。聴くとい うことは、自分が課題、理念を持って 望まないにだめだと思っております。そ うすれば、気づきの部分があります。 ふれあい懇談会にしても、参加するこ とで臨場感があります。課題を見つけ、 真摯に受け止めるよう現場主義をとっ ています。</p>

<p>意見 7</p>	<p>公民館の横に防災（コミュニティ）無線のスピーカーがあり、毎日午後5時に音楽が鳴りうるさい。孫が昼寝から目を覚ます。緊急防災のマイクはいいが、毎日音楽を鳴らす必要があるのか。無用にならさないように。田舎はうるさいので環境がいい太宰府市に住んだ。また、自宅の方に向いているスピーカーの角度を別の方向に変えられないのか。</p>	<p>（市長） コミュニティ無線は、平成19年5月4日に設置しました。平成15年の災害のときに、死者まで出ました。県の補助金を活用して、9000万円ほどでやっています。まずやらなければならないことは、情報を提供することです。危機管理のためのものです。17時の音楽は、絶えず使用していないと機械がだめになるためです。有り方についてはトランペットの方向を変更できるか考えていきたいと思います。今以上に情報を流していくことを考えたいと思います。大多数の市民の安全確保、情報提供という意味で…。 改めなければならないのは、聞こえないという意見がありますので、順次増やしていきたいと思っています。</p>
	<p>角度を変えることは市役所に電話したら出来ないと言われた。全部やめるように言っているわけではない。</p>	<p>（市長） 早速自治会長さんとも協議して対応についてはやってもかまわないと思います。 （協働のまち推進担当部長） 物理的に変えることはかまわないと思います。音声の伝達範囲で角度が決められていると聞いています。変更が出来るならば作業を行いたいと思います。現場の確認をしたいと思います。</p>
	<p>私は全く聞こえない。併せてなんとかしてほしい。</p>	<p>（市長） 災害時においても、窓を全部閉めていると聞こえないことがあります。聞こえた人が危機管理の意識から近所の人に知らせるようにできればと思います。これもまた完全は難しいと思います。聞こえにくいところは子機を増やすなどの手立てをとっていききたいと思</p>

		います。
意見 8	本日配布された資料「協働のまちづくり」中にある校区自治協議会は発足しているのか。また、その上部組織である連絡協議会は発足しているのか。	(協働のまち推進担当部長) 現状ですので私から説明します。校区協議会については、今年度 7 つ小学校区がありますが、現在 4 小学校区で立ち上がっています。内 1 つは合同で行うとのことで 3 つの自治協議会が設立しています。残り 3 小学校区の中に星ヶ丘も含まれていますが、現在自治会長さんで協議をされています。規約作りとかまで作業が進んでいると聞いています。
	さらにその上の連絡協議会はどうなっているのか。	(協働のまち推進担当部長) 各校区協議会の会長さんは各行政区自治会の会長さんが入っていただきますので、自治会長さんが校区の中の代表者になると思います。小学校区が出来れば、情報交換も必要になりますので、小学校区の会長さんに集まっていただいた連絡協議会を編成していくことにしていますが、今年度はまだ設立に至っていません。
	その場合は、各小学校区の会長さんがそのまま会を組織するのか。改めて別の人を招聘することはないのか。	(協働のまち推進担当部長) そうです。小学校区協議会の会長さんに委員になっていただき、全体の組織を作ろうとしています。
	同資料 4 ページの図中、防災士の観点から。災害は色々な種類がある。水害に限られた地域であるが、地震はそうではない。ある程度行政の中で最小限度対応できるものは必要ではないかと思う。図の中で、「防犯」は記載されているのに「防災」は記載されていない。防災の意識が低いのではないか。図一つにしても防災の意識を出してほしい。西方沖地震の記憶についてもだん	(市長) 防災、防犯大事な部分です。吉松の自治会は自主的に 9 月 1 日に避難訓練がなされました。各自治会に自らの財産は、自ら地域で守る気概を持って頂いて、それについての支援は当然です。あまり災害が発生しない地域では、他人事のような地域もあります。現に発生しているところは、防犯より防災というところもあります。地震は全部来

<p>だん風化しているのではないかと思う。国分の砂防ダムに行った。満杯であった。今雨がふればまた同じになるのではないか。それらを踏まえて、今の問題でなく、防災は将来的問題。警固断層もあり、太宰府まで来ている。30年で活動する可能性は6%で全国で10番目に高い。行政としての心構えが必要でないか。各行政区に防災組織が必要でないかと思う。これはある程度市で音頭をとらないと自治会長の考え方でかなり違ってくる。防災意識を市全体に流してほしい。</p>	<p>る訳ですので、日ごろの訓練が必要で、体系図を作っていくことは大事だと思います。</p>
<p>福祉課は市役所本庁の中にあるのに、本年4月から高齢者支援課の高齢者支援係と包括支援センター係が看護学校跡地に移動した。2課は関連性も強く、市民は相談等内容に応じて、2カ所に出向くことになり非常に不便である。特に高齢者は困っているので、福祉の観点からも一つの場所に集めてほしい。</p>	<p>(市長) 以前の状況は、サンケア太宰府と水城病院に委託していました。民間に委託した方がいい場合と悪い場合があります。今回、委託していたものを直営に戻し、包括的に行う必要があると判断しました。 (健康福祉部長) 方法を考えなければと考えます。 (市長) 皆さまの声を聞いて再チャレンジすることも役割と思っています。市民のための行政です。市は公共施設が限られているため、難しい部分もあります。どうしても行けない場合は、包括支援センターが出向いて各家庭に入って相談する形を採らせたいと思います。</p>
<p>今市長が言ったことを本当に実行してもらえばいいが。先日年寄りが来なさいと言われ、大変だからと言ったら健康のために歩けと言われた。</p>	<p>(市長) ケアマネージャーやヘルパーが発信した意図があると思います。ケースバイケースですが、基本は、状況に応じて今言ったような対応です。</p>